



サバティ新聞

- 秦野南店版 -
2024.2月号

日本人の誇り

今年は元旦から大地震の発生で能登地方の方は大きな災害に見舞われてしまいました。

亡くなられた方も多数いて、本当にお悔やみを申し上げます。

今回の能登の災害で過去の東日本大震災の時に日本人の行動が世界中から称賛されたことを思い出しました。あの時海外では日本のことをどのように報道されていたのか?また、震災後にインターネットに書き込まれた日本人の行動がどうだったのか?書き込まれた内容をご紹介します。と思います。

私はこの内容を見る度に「日本人に生まれて良かった!日本人を誇りに思う」と心底思うと同時に自分も日本人として恥ずかしくない行動をとらなければいけないと強く思います。皆さんはこの記事を見てどう思いますか?

■東日本大震災の時、海外でどのように報道されたのかをご紹介します。

『災害が起こっても、自主的に秩序を保つ日本人』記事はまず、地震発生の日11日の東京都内の状況に注目。電車が止まったために多くの人々が徒歩で帰宅することになったが、「きちんと順序よく歩き、騒ぎはなかった」、「道路は渋滞したが、クラクションを鳴らす自動車はなかった」として、「巨大な無声映画を見ているような感じすらした」と報告した。バス乗り場でも数百メートルの行列ができたが、「係員の仕事は列の最後尾の場所を教えることぐらい」「列に並ぶように」などの強制はまったくなかったにもかかわらず、すべての人が行列してバスを待った」と報じた。

被災地の様子は、一般ユーザーによるインターネットへの投稿を紹介。「数百人が集まった避難場所で、スタッフが走り回って毛布や湯、ビスケットを用意した。男性は女性を助けた。(人々が集まる場所で)たばこを吸う人は1人もいなかった。救援物資の配布は3時間で完了したが、ごみひとつ、落ちていなかった」と、人々が秩序を維持し、助け合いながら配布を受けた様子を紹介した。

『「人に迷惑かけない」常識が、身勝手と混乱を防止』記事は「人に迷惑をかけない」ことを重んじる日本人の考え方に注目。小学校でも「人に不愉快な思いをさせない」、「人に心配をかけない」、「人をいらいらさせない」などと教育していると紹介した。日本人の自らを律する精神や、「所かまわずたんやつばを吐かない」、「大声で騒がない」、「行列に割り込みをしない」、「ごみを勝手に捨てない」などの特色も「人に迷惑をかけない」の精神が生み出したものと解釈できると論じ、「少数ではあるが『細かいことにこだわらない人』もいる。しかし、周囲の状況を察して、自らを律するようになる」と記した。

「震災で家族や親友が命を奪われた場合でも、日本人は大声で泣くことが少なく、静かに運命を受け入れる」、「自分が救出された場合、『ありがとうございます』と言うのではなく『申し訳ありませんでした』と言う人が多い」と紹介し、「他人に迷惑をかけてならないとの精神が強くあらわれるのだ」との見方を示した。

サバティにはホームページがあるんです。秦野南店だけでなくその他の店舗の情報も満載です。スタッフのブログも掲載されていますので是非一度見に来てくださいね。



サバティ秦野南店

https://www.cavaty.jp/hadano_minami/



今、日本は世界有数の観光地となっています。東京、京都はもちろんのこと、北海道、沖縄、その他日本中で観光客を見るようになりました。アニメの人気や日本の豊富な食の文化が拍車をかけていますね。その外国人観光客を「おもてなし精神」で支えているのは紛れもなく日本人達ですよね。「困っている人を助ける」「人には優しくする」「人に迷惑を掛けない」等、物心付いた時から当たり前のように教わって来ていますが、観光客の人達は「日本人が好き」と言うことも原動力になっているようです。

以下の内容は、東日本大震災で実際「見た」「あった」ことのご紹介です。ご参照ください。X(旧twitter)引用

鹿児島でひとり暮らす母に電話。声を聞かせて安心させるつもりが、逆に叱咤激励されてしまった。母曰く「あなたが今その年齢で其処に立っていることの意味を真剣に考えなさい。自分にできるやり方で世のため人のために尽くしなさい」と。僕はあなたの子であることを誇りに思います。明日も生きるぜ。

ヤンキーの兄ちゃんがおばあちゃん背負って避難したり、ヤクザのおじさん達が交通整備したり、見た目怖そうな集団が子供の傍から離れられない親の分まで食料受け取って配ったり、連係プレーでヤシマ作戦成功させたり日本人に生まれたことを誇りに思う

ぜんぜん眠っていないであろう旦那に、「大丈夫?無理しないで。」とメールしたら、「自衛隊なめんなよ。今無理しないでいつ無理するんだ?言葉に気をつけろ。」と返事が。彼らはタフだ。肉体も、精神も。

ファミマに行ったら聞こえてきた今どきっぽい高校生の会話「やべー300円も募金しちゃったわ。俺の今月残り100円もないわ、まじやべー」「無理すんなよ、俺財布に残っていた500円玉募金したから空っぽだわ。まじやべー」、日本終わってない。

募金箱の前にて幼稚園位の男の子と母親の会話。母「貯めてたのに本当にいいの?」子「3DS我慢する。これで地震の人の家建てる。」と言いお年玉袋から5,000円を寄付。母「偉いね。地震の人、これで寒くなくなるね。」男の子思わず号泣。後ろにいた私、大号泣。

子供がお菓子を持ってレジに並んでいたけれど、順番が近くなり、レジを見て考え込み、レジ横にあった募金箱にお金を入れて、お菓子を棚に戻して出て行きました。店員さんがその子供の背中に向けてかけた、ありがとうございます、という声が震えてました。

昨夜のこと。ある駅近くのコンビニが停電の中自家発電で営業していた。レジに長蛇の列が出来ているさなか、燃料が切れたのか自家発電が切れてレジが動かなくなった。真っ暗な店内。皆手に持った商品を棚に戻して店を出ていた。そのまま持って出ても誰も分からない状況だったけど。

千葉の友達から。避難所でおじいさんが「これからどうなるんだろう」と漏らした時、横にいた高校生ぐらいの男の子が「大丈夫、大人になったら僕らが絶対元に戻します」って背中さすって言ってたらしい。大丈夫、未来あるよ。

物が散乱しているスーパーで、落ちているものを律儀に拾い、そして列に黙って並んで、お金を払って買い物をする。運転再開した電車で、混んでるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。すごいよ日本。



2月生まれのご利用者の皆様おめでとうございます!

1日…… 4日……
5日…… 19日……
22日……

見学・体験、随時受付中!

月	火	水	木	金
◎	◎	◎	◎	◎

・営業時間：9:00～12:00 / 13:30～16:30
どんなご相談でもお気軽にお問い合わせください!

電話  **0463-83-8121**
ファックス  **0463-83-8120**



CAVATY

サバティ秦野南店

介護保険事業所番号
1492800329

機能回復リハビリスタジオ **サバティ 神奈川**

〒257-0034
神奈川県秦野市大秦町2-21

ホームページはこちら
<https://www.cavaty.jp/>

